

●**コロナウィルス感染後のワクチン接種**

■**新型コロナウィルスに感染した場合、ワクチン接種はできますか：**

初回接種（1回目・2回目）、追加接種（3回目）にかかわらず、新型コロナウィルスに感染した方もワクチン接種することができます。

■**感染したのにワクチン接種がなぜ必要なのですか：**

- ①このウィルスは1度感染しても再度感染する可能性がある
- ②自然に感染するよりもワクチン接種の方が、新型コロナウィルスに対する血中の抗体価が高くなる
- ③多様な変異に対する抗体の産生も報告されている
- ④感染後のワクチン接種が、その後の感染に対する防御をさらに高める

以上の理由から感染後のワクチン接種が必要なのです。

■**感染した場合、いつ追加接種ができるのですか：**

初回接種後に感染した場合、追加接種までの間隔は暫定的に**3カ月**を1つの目安にしています。

ただし、追加接種は2回目接種から6カ月経過していなければなりません。例えば、2回目接種から4か月後に感染した場合、追加接種は2回目接種から7か月後が1つの目安になります。

この3カ月という間隔は、厚労省が諸外国の資料を参考にした「目安」であり、感染から回復後、期間を空けずに追加接種することも否定していません。

■**感染後の追加接種をご希望の方：**

初回接種（1回目・2回目）の接種日と感染した日を確認の上、ご連絡下さい。追加接種の条件（感染からの経過日数）に該当していれば、予約を受け付けますので接種券・問診表・住所確認できるもの（免許証等）をご持参ください。